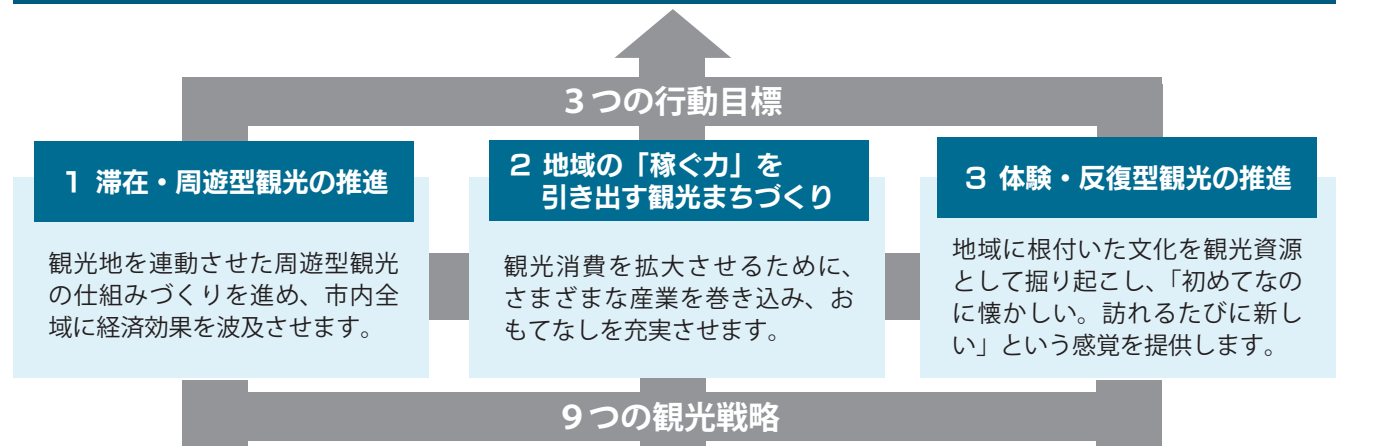


9つの戦略で目指す 経済効果を実感できる観光振興

農林水産・飲食・宿泊業など市内産業がうるおう観光振興を！



周遊観光の仕組みづくり

仙崎地区交流拠点施設「センザキッチン」を交流の拠点として、観光情報や道路情報などのワンストップ機能を充実させるほか、大型クルーズ船の誘致により、地域経済への波及と市の知名度アップを図ります。

市民協働による「おもてなし力」の強化

観光客に接する機会の多い旅館関係者や観光・文化施設の従事者、観光案内所やガイドのスキル向上や、観光客に合った旅行プランの企画提案を行う人材を育成します。市民協働による環境美化活動にも取り組みます。

市民の力を観光につなげる着地型観光の推進

市民や企業参加型の新しい地域旅の造成を目指し、観光分野に限らず、教育・文化・スポーツ、福祉などさまざまな分野と連携して、観光客と市民が楽しく、学びながら交流できるプログラムを検討します。

エリアごとの特色あるまちなみ整備

仙崎・長門湯本・俵山地区のまちなみ整備など

宿泊につながる観光客誘致

県外観光客の誘致／外国人観光客の誘致／コンベンションの誘致

訴求力の強い情報発信

デジタルマーケティングを活用した戦略的な情報発信／民間と連携した情報発信

総合プロデュース機能の充実

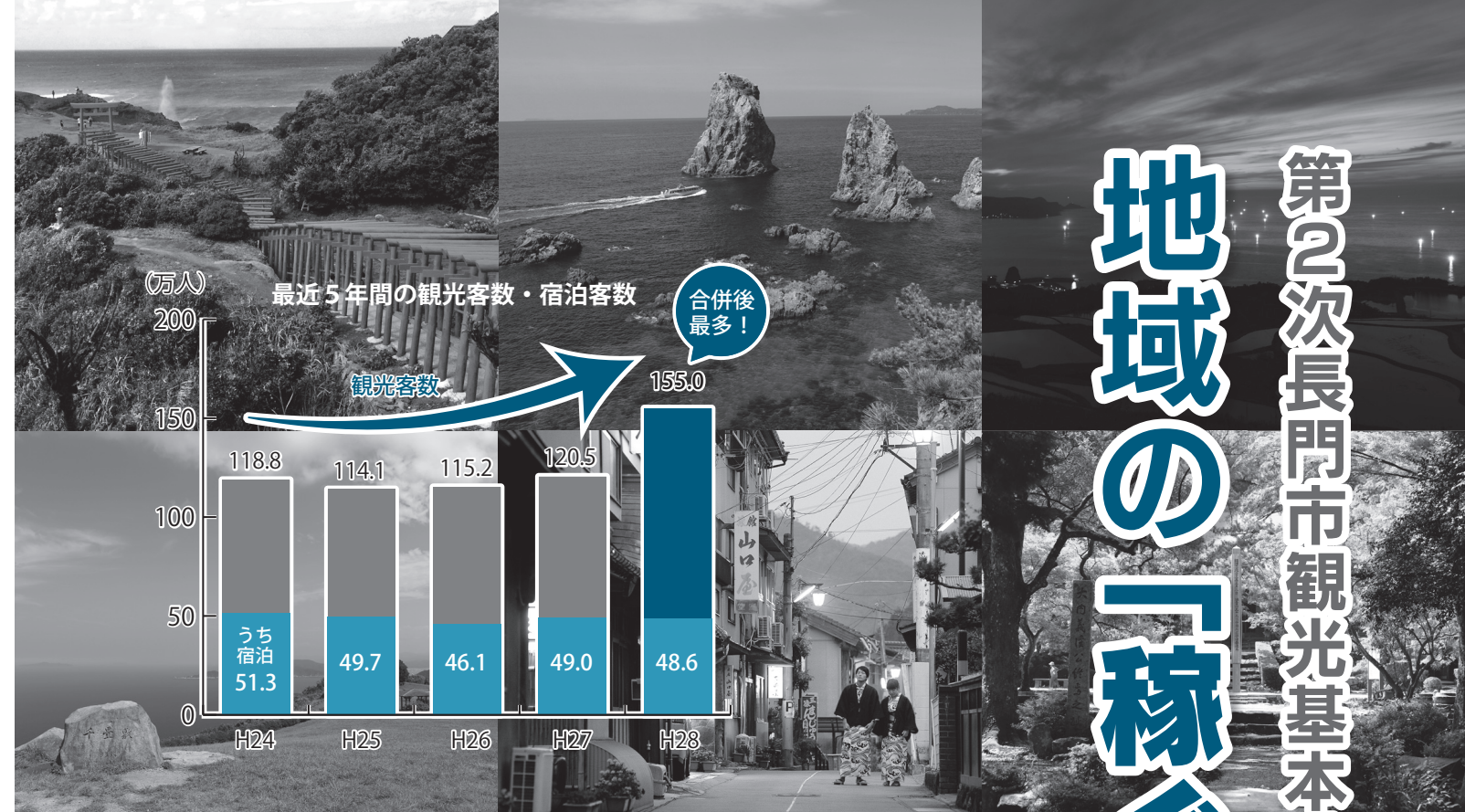
長門市観光コンベンション協会の機能強化／観光まちづくりに向けた関係団体の合意形成など

長門温泉郷の魅力を活かした取組

長門湯本温泉観光まちづくり／「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進など

地域資源のブランド化やブラッシュアップ

ながとの「食」や「土産物」の魅力向上／既存素材やイベントのブラッシュアップ



観光の「今」

観光産業に大きなチャンスが

本市における平成28年の観光客数は、合併後最高人数となる155万人を記録しました。

今年度は、JR6社が山口県を集中的に宣伝し誘客を図る大型観光企画「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」が開催され、平成30年4月には仙崎地区交流拠点施設「センザキッチン」がグランドオープン、また長門湯本温泉の観光まちづくりが進み、本市の観光産業は今、大きなチャンスを迎えようとしています。

どんな計画？

「やまぐち」を掲げる5年間

本計画は「日本の心『やさしさ』を奏でるまち長門」を基本理念とし、平成29年度から33年度まで5年間の取組を推進していくために策定しました。

このような情勢の中、交流人口を増やし、外貨を獲得するためには、さらなる観光客誘客を進め、市民・地域・事業者・関係機関がそれぞれの立場から「おもてなし」を展開し、一体となつて観光推進策に取り組んでいくことが求められています。

経済効果を実感できるように

本計画では、本市の良さを民間事業者、地域住民、行政が市民協働で磨き上げ、観光素材を生かして経済効果に結びつけることを目指しています。

「経済効果を実感できる観光振興」を基本方針として、取組を着実に実行するため、次ページののとおり3つの行動目標と9つの観光戦略を設定しました。

本計画は市ホームページで見ることが出来ます。トップページから「第2次長門市観光基本計画」で検索してください。

平成29年3月、市では「第2次長門市観光基本計画」を策定しました。人口減少が続く中、本市の活性化のために欠かせない観光振興に取り組むことで、市民一丸となつて交流人口の増加や地場産業の発展につなげていきたいと思います。

第2次長門市観光基本計画を策定

地域の「稼ぐ力」を引き出す

観光課観光振興係 Tel 23・1137